学校番号	１０１２

令和８年度　看護科

教科	看護	科目	基礎看護	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	基礎看護						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

より自然な身体看護が行えるよう、人の動きをうまく利用するキネステティクスを学びます。また、日常生活看護を実際に看護師役・患者役に分かれて体験し、体験してみないとわからない感覚を考察し、今後の看護活動に活かしていきます。実習には積極的に参加し、多くの気づきを得られるようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
看護の意義や看護師の役割に興味を持ち、その基礎となるコミュニケーション力を身に付ける。また、看護に必要な基礎的な知識と技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
相手のことを考えた看護活動が行えるようになる。そのために実習を通じて患者の気持ちを理解することができる。また実習記録の作成を通じて文章での表現力を高めることができる。

【学びに向かう力、人間性等】
看護職を目指すにあたり、ひとつひとつの看護技術について、興味・関心を深め、自ら学ぶ意欲を高めていくことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割について関心をもち、基礎的・基本的な知識と技術を身に付けている。	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して看護活動を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	看護を行うために必要な医学と保健について関心をもち、人間の健康と疾病及びこれらと環境との関係について理解しようと意欲的に取り組むと共に、看護の改善・向上を目指して実践的に取り組む態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	看護の意義・病床環境の調節・	・看護が様々な分野で行われていることを知る ・患者とのコミュニケーションとは何かを知る。 ・病床環境を整える意義を学ぶ 実習：ベッドメイキング	a:ベッドメイキング、コミュニケーションの技術を身に付けている。看護師の仕事内容や役割について正しい知識を身に付けている b:看護が必要となる人はどのような人であるかについて考えを深めることができる c: 看護の意義や患者の生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 実技テスト	プリント 発表	授業観察
2	活動・運動の援助・身体の清潔の援助	・姿勢・体位と運動の生体に及ぼす影響を知る。 実習：体位変換 ・身体の清潔の意義を知り、その援助方法を学ぶとともに患者の苦痛も理解する 実習：手洗い、手浴、足浴、清拭	a: 姿勢の保持や体位が身体に与える影響、清潔援助について正しい知識と技術を身に付けている。 b:どのような姿勢が良いかや清潔にすることが人にどのような影響を与えるかについて考えを深めることができる c: 姿勢の保持や運動、清潔の意義について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている	定期考査 実技テスト	プリント	授業観察 グループワーク
3	身体の清潔の援助・フィジカルアセスメント	・寝衣交換の必要性を知り、援助方法を身に付ける 実習・寝衣交換 ・体温、脈拍、呼吸、血圧の生理を知り、その測定方法を知る 実習：体温 脈拍 呼吸測定 血圧測定	a: 寝衣交換の必要性や対象となる患者を知り、寝衣交換が行える。バイタルサインの測定方法・基準値について、正しい知識を身に付け、正しく測定できる。 b:患者の自立を促すための寝衣交換の方法を考えることができる。バイタルサインの測定することで相手の状態を判断し、適切な看護を考えることができる。 c: 寝衣交換から患者の不自由さについて理解し、バイタルサインから人間の健康状態に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている	定期考査 実技テスト	プリント 発表	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度